

- Ambulatory Care' in clinical oncology practice. Psychooncology 19: 718-25, 2010
2. Asai, M., Ogawa, A., Uchitomi, Y., et al : Psychiatric disorders and stress factors experienced by staff members in cancer hospitals: a preliminary finding from psychiatric consultation service at National Cancer Center Hospitals in Japan. Palliat Support Care 8: 291-5, 2010
 3. Ogawa, A., Uchitomi, Y., et al : Involvement of a psychiatric consultation service in a palliative care team at the Japanese cancer center hospital. Jpn J Clin Oncol 40: 1139-46, 2010
 4. 高橋真由美, 小川朝生, 内富庸介, 他: 【うつを診る】 各領域におけるうつ病診療とその対策の実際 緩和ケア領域におけるうつ病. 総合臨床 59: 1224-1230, 2010
 5. 小川朝生: 精神科医への期待 いま進められている事業から. 精神神経学雑誌 112: 1010-1017, 2010
 6. 大谷恭平, 小川朝生, 内富庸介, 他: サバイバーにおける認知機能障害. 腫瘍内科 5: 202-210, 2010
 7. 小川朝生: 在宅ケア各論 第5回. 温 第5号: 13-15, 2010
 8. 小川朝生: 【がんの告知と看護師の役割 看護師のコミュニケーション技術】 医療者間のコミュニケーション. がん看護 15: 50-52, 2010
 9. 白井由紀, 小川朝生, 内富庸介, 他: がん治療中の患者の精神症状. エビデンスにもとづいた OncologyNursing 総集編: 163-167, 2010
 10. 白井由紀, 小川朝生 :がんチーム医療におけるコミュニケーション・スキル. Oncology Nursing 1: 22-25, 2010
- シヨンの実際, 第23回日本総合病院精神医学会総会, 東京都千代田区, 2010, GHP 精神腫瘍学研修会
4. 小川朝生: 心理士のアセスメント・介入, 第23回日本サイコオンコロジー学会研修セミナー, 愛知県名古屋市, 2010,
 5. 小川朝生: 患者の意向に沿った治療を考える (意思決定能力), 第23回日本サイコオンコロジー学会, 愛知県名古屋市, 2010, JPOS シンポジウム6
 6. 小川朝生: 緩和ケアチーム・フォーラム よりよい活動のためにー成熟期への道しるべー, 第15回日本緩和医療学会学術大会, 東京都千代田区, 2010, 職種別フォーラム 4 座長
- H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)
1. 特許取得
なし。
 2. 実用新案登録
なし。
 3. その他
特記すべきことなし。

学会発表

1. 小川朝生: 精神科医への期待 いま進められている事業から, 第106回日本精神神経学会学術総会, 広島県広島市, 2010, シンポジウム21
2. 鈴木真也, 小川朝生, 内富庸介, 他 : せん妄をきたしたがん患者における非定型抗精神病薬の高血糖, 第48回日本癌治療学会学術集会, 京都府京都市, 2010, 一般演題 (ポスター)
3. 小川朝生: がん患者におけるコンサルテー

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
分担研究報告書

高齢がん患者における心身の状態の包括的評価方法に関する研究

研究分担者 奥山 徹 名古屋市立大学大学院医学研究科

研究要旨 高齢がん患者の急増にも関わらず、高齢がん患者に相応しい医療やケアのあり方に関する知見は乏しい。本研究の目的は、VES-13 がわが国の高齢がん患者の脆弱性スクリーニングに有用な評価方法であるかどうかを検討することとする。名古屋市立大学病院に入院となった、新規に悪性リンパ腫または多発性骨髄腫と診断された 65 歳以上のがん患者とした。適格患者に対して、抗がん治療開始前に VES-13 を実施すると共に、身体的機能、抑うつ気分、認知機能障害などに関する包括的評価を行った。平成 22 年度は VES-13 開発者より日本語版開発の許可を得て、Forward-backward 法を用いて日本語版を作成した。また同年 9 月より実地調査を開始し、本抄録記載時点で 16 名より有効回答を得たところである。

A. 研究目的

高齢がん患者の急増にも関わらず、高齢がん患者に相応しい医療やケアのあり方に関する知見は乏しい。高齢者は抗がん治療の副作用などに脆弱であることも多いことから、身体機能、精神・認知機能などに関する包括的評価を行うことで、そのような脆弱性を有する患者を同定する試みがされるようになってきている。Vulnerable Elders Survey (VES-13) は、そのような患者のスクリーニングツールのひとつである。海外ではその有用性が実証されており、高齢者治療ガイドラインなどでもその使用が推奨されている。本研究の目的は、VES-13 がわが国の高齢がん患者の脆弱性スクリーニングに有用な評価方法であるかどうかを検討することとする。

B. 研究方法

名古屋市立大学病院に入院となった、新規に悪性リンパ腫または多発性骨髄腫と診断された 65 歳以上のがん患者とする。適格患者に対して、抗がん治療開始前に VES-13 を実施すると共に、身体的機能、抑うつ気分、認知機能障害などに関する包括的評価を行う。

(倫理面への配慮)

本研究は当院倫理審査委員会の承認を得ており、患者からは文書による同意を得る。また同意能力がないと判断される場合は、患者から口頭での同意と代諾者からの文書による同意を得る。

C. 研究結果

VES-13 開発者より日本語版開発の許可を得て、Forward-backward 法を用いて日本語版を作

成した。平成 22 年 9 月より実地調査を開始し、本抄録記載時点で 16 名より有効回答を得た。

D. 考察

VES-13 の日本語版を作成した。また現在までの進捗状況から本研究の実施可能性を確認することができた。

E. 結論

症例集積が終了した時点で、VES-13 の有用性を検討するための統計解析を施行する予定である。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

論文発表

1. Katsumata R, Akechi T, Shinagawa Y, Okuyama T, et al: A case with Hodgkin lymphoma and fronto-temporal lobular degeneration (FTLD)-like dementia facilitated by chemotherapy. Jpn J Clin Oncol 40:365-8, 2010
2. Kato M, Okuyama T, et al: Japanese version of the Delirium Rating Scale, Revised-98 (DRS-R98-J): reliability and validity. Psychosomatics. 51(5): 425-31, 2010
3. Wang XS, Okuyama T, et al: Impact of cultural and linguistic factors on symptom reporting by patients with cancer.

- J Natl Cancer Inst. 19;102(10): 732-8, 2010
4. Akechi T, Okuyama T, et al: Anticipatory nausea among ambulatory cancer patients undergoing chemotherapy: Prevalence, associated factors, and impact on quality of life. *Cancer Sci*, 101(12):2596-600, 2010
 5. Akechi T, Okuyama T, et al: Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan. *Psychooncology*, 2010
 6. Akechi T, Okuyama T, Uchitomi Y, et al: Gender differences in factors associated with suicidal ideation in major depression among cancer patients. *Psychooncology* 19:384-9, 2010
 7. Akechi T, I Okuyama T, et al: Delirium training program for nurses. *Psychosomatics* 51:106-11, 2010
- 学会発表
1. Uchida M, Akechi T, Okuyama T, et al: Patients' supportive care needs and psychological distress in advanced breast cancer patients in Japan. Patients' supportive care needs and psychological distress in advanced breast cancer patients in Japan, 57th Psychosomatic Medicine, 2010 Nov
 2. Nakaguchi T, Akechi T, Okuyama T, et al :Usefulness of eye movement desensitization and reprocessing (EMDR) for psychological nausea, vomiting and learned food aversion experienced by cancer patients receiving repeated chemotherapy: a case series. Book Usefulness of eye movement desensitization and reprocessing (EMDR) for psychological nausea, vomiting and learned food aversion experienced by cancer patients receiving repeated chemotherapy: a case series, 57th Psychosomatic Medicine, 2010 Nov
 3. Akechi T, Okuyama T, et al: Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan. Book Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan, 57th Psychosomatic Medicine, 2010 Nov
 4. Okuyama T, Akechi T, et al : Nurses in outpatient chemotherapy center may have difficulty in assessing their patients' symptoms and supportive care needs. Nurses in outpatient chemotherapy center may have difficulty in assessing their patients' symptoms and supportive care needs, 12th World Congress of Psycho-Oncology, 2010 May
 5. Akechi T, Okuyama T, et al :Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan. Book Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan, 12th World Congress of Psycho-Oncology, 2010 May
 6. 中口智博, 明智龍男, 奥山徹, 他: 化学療法に起因した予期性悪心嘔吐、食物嫌悪に奏功した短期心理療法-EMDR, 第15回日本緩和医療学会総会, 2010年6月
- H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)
1. 特許取得
なし
 2. 実用新案登録
なし
 3. その他
なし

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
明智龍男, 内富庸介	がん患者の抑うつ症状緩和 最近の話題	樋口輝彦	別冊・医学のあゆみ 最新-うつ病のす べて	医師薬出版 株式会社	東京	2010	160-164
明智龍男	せん妄なのか、アカシジアな のか分からない時の対応	森田達也, 新城拓也, 林めぐり子	緩和ケアのちょっと したコツ	青海社	東京	2010	238-240
明智龍男	希死念慮・自殺	大西秀樹	専門医のための精神 科臨床リュミエール 24 サイコオンコロ ジー	中山書店	東京	2010	69-74
明智龍男	精神症状の基本	小川朝生, 内富庸介	これだけは知ってお きたいがん医療にお ける心のケア	創造出版	東京	2010	53-60
内富庸介, 他	悪性腫瘍	下田和孝	脳とこころのプライ マリケア1 うつと不 安	株式会社 シナジー	東京	2010	354-362
内富庸介	精神腫瘍学概論	大西秀樹	専門医のための精神 科臨床リュミエール24	中山書店	東京	2010	2-12
藤森麻衣子, 内富庸介	がん医療におけるコミュニ ケーションスキル	大西秀樹	専門医のための精神 科臨床リュミエール24	中山書店	東京	2010	139-148
藤森麻衣子, 内富庸介	Bad Newsの伝え方・予後の話 し合い方		消化器Book01胃癌を 診る・治療する 早 期発見から緩和ケア	株式会社 羊土社	東京	2010	146-152
岡村 仁	2. がんの治療の流れと心の ケア.	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポケット ガイド これだけは 知っておきたいがん 医療における心のケ ア	創造出版	東京	2010	3-7

岡村 仁	15. 情報.	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポケット ガイド これだけは 知っておきたいがん 医療における心のケ ア	創造出版	東京	2010	147-149
岡村 仁	精神症状の評価とマネー ジメント 9. 高齢者/認知 症.	大西秀樹	専門医のための精神 科臨床リュミエール 24 サイコオンコロ ジー	中山出版	東京	2010	120-126
森田達也	13. 輸液・栄養補給 Q66終末 期の輸液の考え方を教えて ください.	堀夏樹, 小澤桂子	一般病棟でできる緩和 ケアQ&A改訂版	総合医学社	東京	2010	146-147
森田達也	18. 鎮静 (セデーション) Q83鎮静とは何ですか?.	堀夏樹, 小澤桂子	一般病棟でできる緩和 ケアQ&A改訂版	総合医学社	東京	2010	182-183
森田達也	18. 鎮静 (セデーション) Q85鎮静に使われる薬剤の 使い方を教えてください.	堀夏樹, 小澤桂子	一般病棟でできる緩和 ケアQ&A改訂版	総合医学社	東京	2010	186-187
社団法人日 本医師会 (監)		森田達也, 他	がん緩和ケアガイド ブック	青海社	東京	2010	
日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成		日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成	がん疼痛の薬物療法 に関するガイドライ ン 2010年版	金原出版	東京	2010	
日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成		日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成	苦痛緩和のための鎮 静に関するガイドラ イン 2010年版	金原出版	東京	2010	
森田達也	IV. 緩和医療 1. 緩和医療概論.	大西秀樹	専門医のための精神 科臨床リュミエール 24 サイコオンコロ ジー	中山書店	東京	2010	150-163
奥山 徹	精神症状の評価とマネー ジメント3. 不眠	大西秀樹	専門医のための精神 科臨床リュミエール 24. サイコオンコロ ジー	中山書店	東京	2010	59-68

小川朝生	心のケアの考え方 精神心的苦痛のアセスメント	小川朝生、内富庸介	精神腫瘍学ポットガイド これだけは知っておきたいがん医療における心のケア	創造出版	東京	2010	36-52
小川朝生	せん妄への対応	小川朝生、内富庸介	精神腫瘍学ポットガイド これだけは知っておきたいがん医療における心のケア	創造出版	東京	2010	61-80
小川朝生	認知症への対応	小川朝生、内富庸介	精神腫瘍学ポットガイド これだけは知っておきたいがん医療における心のケア	創造出版	東京	2010	81-90
小川朝生	がん患者をチームで診る	松島英介	現代のエスプリ がん患者のこころ	株式会社ぎょうせい	東京	2010	136-147
小川朝生	コンサルテーションの基本	大西秀樹	サイコオンコロジー	株式会社中山書店	東京	2010	13-25

雑誌 (外国語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akechi T, et al	Anticipatory nausea among ambulatory cancer patients undergoing chemotherapy: Prevalence, associated factors, and impact on quality of life	Cancer Sci	101(12)	2596-2600	2010
Akechi T, Okamura H, Uchitomi Y, et al	Gender differences in factors associated with suicidal ideation in major depression among cancer patients.	Psychooncology	19(4)	384-9	2010
Akechi T, et al	Delirium training program for nurses.	Psychosomatics	51(2)	106-11	2010
Uchida M, Akechi T, et al.	Patients' Supportive Care Needs and Psychological Distress in Advanced Breast Cancer Patients in Japan	Jpn J Clin Oncol			2010

Katsumata R, <u>Akechi T, et al</u>	A case with Hodgkin lymphoma and fronto-temporal lobular degeneration (FTLD)-like dementia facilitated by chemotherapy.	Jpn J Clin Oncol	40(4)	365-8	2010
Azuma H, <u>Akechi T, et al</u>	Paroxysmal nonkinesigenic dyskinesia with depression treated by bilateral electroconvulsive therapy.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci	22(3)	352d e6- 352 e6	2010
Asai M, <u>Akechi T,</u> <u>Uchitomi Y, et al</u>	Psychiatric disorders and stress factors experienced by staff members in cancer hospitals: a preliminary finding from psychiatric consultation service at National Cancer Center Hospitals in Japan.	Palliat Support Care	8(3)	291-5	2010
Ando M, <u>Morita T,</u> <u>Akechi T, et al</u>	Efficacy of short-term life-review interviews on the spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	J Pain Symptom Manage	39(6)	993-1002	2010
Akazawa T, <u>Akechi T,</u> <u>Morita T, et al</u>	Self-perceived burden in terminally ill cancer patients: a categorization of care strategies based on bereaved family members' perspectives.	J Pain Symptom Manage	40(2)	224-34	2010
Asai M, <u>Uchitomi Y, et al</u>	Psychological states and coping strategies after bereavement among the spouses of cancer patients: a qualitative study	Psychooncology	19	38-45	2010
Ishida M, <u>Uchitomi Y, et al</u>	Psychiatric Disorders in Patients Who Lost Family Members to Cancer and Asked for Medical Help: Descriptive Analysis of Outpatient Services for Bereaved Families at Japanese	Jpn J Clin Oncol			2010
Ishida M, <u>Uchitomi Y, et al</u>	Bereavement dream? Successful antidepressant treatment for bereavement-related distressing dreams in patients with major depression	Palliat Support Care	8	95-98	2010
Kishimoto Y, <u>Uchitomi Y, et al</u>	Kana Pick-out Test and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease	Int Psychogeriatr		1-8	2010

Matsumoto Y, Uchitomi Y, et al	Suicide associated with corticosteroid use during chemotherapy: case report	Jpn J Clin Oncol	40	174-176	2010
Nakaya N, Uchitomi Y, et al	Personality traits and cancer risk and survival based on Finnish and Swedish registry data	Am J Epidemiol	172	377-385	2010
Nakaya, N Uchitomi Y, et al	Increased risk of severe depression in male partners of women with breast cancer	Cancer	116	5527-5534	2010
Ogawa A, Uchitomi Y, et al	Involvement of a psychiatric consultation service in a palliative care team at the Japanese cancer center hospital	Jpn J Clin Oncol	40	1139-1146	2010
Shimizu K, Uchitomi Y, et al	Feasibility and usefulness of the 'Distress Screening Program in Ambulatory Care' in clinical oncology practice	Psychooncology	19	718-725	2010
Ozono S, Okamura H, et al	Psychological distress related to patterns of family functioning among Japanese childhood cancer survivors and their parents.	Psycho-Oncology	19	545-552	2010
Funaki Y, Okamura H, et al	Effect of exercise on a speed feedback therapy system in elderly persons.	Phys Occup Ther Geriatr	28	131-143	2010
Hanaoka H, Okamura H, et al	Psychosocial factors that influence the effects of obesity improvement programs.	J Rural Med	5	175-183	2010
Shinjo T, Morita T, et al	Care for the Bodies of Deceased Cancer Inpatients in Japanese Palliative Care Units.	J Palliat Med	13	27-31	2010

Shinjo T, Morita T, et al	Care for imminently dying cancer patients: family members' experiences and recommendations.	J Clin Oncol	28	142-148	2010
Okamoto T, Morita T, et al	Religious care required for Japanese terminally ill patients with cancer from the perspective of bereaved family members.	Am J Hosp Palliat Med	27	50-54	2010
Ando M, Morita T, et al	Factors that influence the efficacy of bereavement life review therapy for spiritual well-being: a qualitative analysis.	Support Care Cancer	19	309-314	2010
Nakazawa Y, Morita T, et al	The palliative care self-reported practices scale and the palliative care difficulties scale: reliability and validity of two scales evaluating self-reported practices and difficulties experienced in palliative care by	J Palliat Med	13	427-437	2010
Hyodo I, Morita T, et al	Development of a predicting tool for survival of terminally ill cancer patients.	Jpn J Clin Oncol	40	442-448	2010
Ise Y, Morita T, et al	Role of the community pharmacy in palliative care: a nationwide survey in Japan.	J Palliat Med	13	733-737	2010
Ando M, Morita T, et al	Value of religious care for relief of psycho-existential suffering in Japanese terminally ill cancer patients: the perspective of bereaved family members.	Psychooncology	19	750-755	2010
Yamada R, Morita T, et al	Patient-reported usefulness of peripherally inserted central venous catheters in terminally ill cancer patients.	J Pain Symptom Manage	40	60-66	2010

Hisanaga T, <u>Morita T</u> , et al	Multicenter prospective study on efficacy and safety of octreotide for inoperable malignant bowel obstruction.	Jpn J Clin Oncol	40	739-745	2010
Igarashi A, <u>Morita T</u> , et al	Changes in medical and nursing care after admission to palliative care units: a potential method for improving regional palliative care.	Support Care Cancer	18	1107-1113	2010
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Effects of bereavement life review on spiritual well-being and depression.	J Pain Symptom Manage	40	453-459	2010
Choi J, <u>Morita T</u> , et al	Preference of place for end-of-life cancer care and death among bereaved Japanese families who experienced home hospice care and death of a loved one.	Support Care Cancer	18	1445-1453	2010
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	The care strategy for families of terminally ill cancer patients who become unable to take nourishment orally: Recommendations from a nationwide survey of bereaved family members'	J Pain Symptom Manage	40	671-683	2010
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u>	Factors in the short-term life review that affect spiritual well-being in terminally ill cancer patients.	J Hosp Palliat Nurs	12	305-311	2010
Shimizu, K., <u>Ogawa, A.</u> , <u>Uchitomi, Y.</u> , et al	Feasibility and usefulness of the 'Distress Screening Program in Ambulatory Care' in clinical oncology practice	Psychooncology	19	718-725	2010
Asai, M., <u>Ogawa, A.</u> , <u>Uchitomi, Y.</u> , et al	Psychiatric disorders and stress factors experienced by staff members in cancer hospitals: a preliminary finding from psychiatric consultation service at National	Palliat Support Care	8	291-295	2010
<u>Ogawa, A.</u> , <u>Uchitomi, Y.</u> , et al	Involvement of a psychiatric consultation service in a palliative care team at the Japanese cancer center hospital	Jpn J Clin Oncol	40	1139-1146	2010

Wang XS, <u>Okuyama T</u> , et al	Impact of cultural and linguistic factors on symptom reporting by patients with cancer.	J Natl Cancer Inst.	102 (10)	732-738	2010
Kato M, <u>Okuyama T</u> , et al	Japanese version of the Delirium Rating Scale, Revised-98 (DRS-R98-J): reliability and validity.	Psychosomatics	51 (5)	425-31	2010
Yoshida S, <u>Morita T</u> , et al	Experience of families of Japanese patients with cancer for prognostic disclosure.	J Pain Symptom Manage	Dec 9		in press
Inoue S, <u>Okamura H</u> , et al	Assessment of the efficacy of foot baths as a means of improving the mental health of nurses: a preliminary report.	J Health Sci Hiroshima Univ			in press
Kinoshita Y, <u>Akechi T</u> , et al	Psychotic-like experiences are associated with violent behavior in adolescents.	Schizophr Res			in press
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	Development of a Japanese Benefit Finding Scale (JBFS) for Patients With Cancer.	Am J Hosp Palliat Care			in press
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	A qualitative study of mindfulness-based meditation therapy in Japanese cancer patients.	Support Care Cancer			in press
<u>Akechi T</u> , et al	Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan.	Psychooncology			in press
Furukawa TA, <u>Akechi T</u> , et al	Relative indices of treatment effect may be constant across different definitions of response in schizophrenia trials	Schizophr Res			in press

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
奥山 徹	がん患者への精神療法	現代のエスプリ	517	113-124	2010
高木学, 内富庸介, 他	非鎮静系抗精神病薬aripiprazole, blonanserinの可能性—急性期, 維持期における改善例を通じて見えてくるもの—	臨床精神薬理	13	1771-1777	2010
内富庸介	精神腫瘍学概論	岡山医学会雑誌	122	119-124	2010
内富庸介, 他	がん患者の心理的反応に配慮したコミュニケーション	日本整形外科学会雑誌	84	331-337	2010
荻野和功, 森田達也	がん医療はどう変わったのか「がん対策基本法」施行から2年半. 浜松地域のリーダーとして現場のニーズを常に念頭に入れがんになっても安心な環境づくりに取り組む.	medi. magazine	冬号 通巻04号	20-24	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	浜松市のがん患者に対するケアマネジメントの実態調査.	緩和ケア	20	92-98	2010
森田達也	シリーズ「がん」 緩和ケア、普通の暮らしを願って.	朝日新聞社		http://www.asahi.com/health/essay/TKY201001280383.html	2010
森田達也, 他	特集 進歩するがん診療 鼎談②緩和ケアの最前線.	日本医事新報	4475	45-55	2010
森田達也, 他	末期がんだけではない「緩和ケア」は、ここまで進化した.	ナーシングカレッジ	14	44-50	2010
吉田沙蘭, 森田達也, 他	難治性小児がん患者の家族が経験する困難の探索.	小児がん	47	91-97	2010
森田達也	緩和医療 緩和ケアチームと緩和ケア病棟.	臨床麻酔	34 (臨時増刊号)	431-443	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み—フォーカスグループの有用性.	緩和ケア	20	204-209	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み—フォーカスグループの有用性 ²⁾	緩和ケア	20	308-312	2010

井村千鶴, 森田達也, 他	緩和ケアチームによる診療所へのアウトリーチプログラムの有用性.	癌と化学療法	37	863-870	2010
森田達也	末期肺癌の緩和ケア (Q&A)	日本医事新報	4497	79-80	2010
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第1回 論文を書く、その前に一原著論文の査読システムを知る一.	緩和ケア	20	379-383	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み—フォーカスグループの有用性 ³⁾ .	緩和ケア	20	417-422	2010
森田達也	がん性疼痛治療 がん性疼痛ガイドラインの作成.	Mebio	27	24-28	2010
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第2回 「はじめに」を書く.	緩和ケア	20	513-516	2010
森田達也	在宅の視点をもった緩和ケアチーム.	地域緩和ケアリンク	10	2	2010
小田切拓也, 森田達也	そこが知りたい!緩和ケアにおける服薬指導 第I部緩和ケアにおいて服薬指導に何が求められるか.	緩和ケア	20 (10 月増刊 号)	2-5	2010
森田達也, 内富庸介, 他	がん患者が望む「スピリチュアルケア」89名のインタビュー調査.	精神医学	52	1057-10 72	2010
伊藤富士江, 森田達也, 他	がん在宅緩和医療の課題と解決策に関する診療所医師を対象とした訪問調査.	緩和ケア	20	641-647	2010
余宮きのみ, 森 田達也	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン2010年版を読み解く オピオイド鎮痛薬を中心に.	ペインクリニック	31	1477-14 83	2010
森田達也	経験したことを伝えて行こう 研究論文の書き方 第3回「対象・方法」を書く.	緩和ケア	20	605-610	2010
新城拓也, 森田 達也, 他	主治医による死亡確認や臨終の立ち会いが、家族の心理に及ぼす影響についての調査研究.	Palliat Car Res	5	162-170	2010
赤澤輝和, 森田 達也, 他	緩和ケアについての市民・患者対象の啓発介入の実態調査.	Palliat Car Res	5	171-174	2010

高橋真由美, 小川朝生, 内富庸介, 他	【うつを診る】 各領域におけるうつ病診療とその対策の実際 緩和ケア領域におけるうつ病	総合臨床	59	1224-1230	2010
小川朝生	精神科医への期待 いま進められている事業から	精神神経学雑誌	112	1010-1017	2010
大谷恭平, 小川朝生, 内富庸介, 他	サバイバーにおける認知機能障害	腫瘍内科	5	202-210	2010
小川朝生	在宅ケア各論 第5回	温	5	13-15	2010
小川朝生	【がんの告知と看護師の役割 看護師のコミュニケーション技術】 医療者間のコミュニケーション	がん看護	15	50-52	2010
白井由紀, 小川朝生, 内富庸介, 他	がん治療中の患者の精神症状	エビデンスにもとづいた OncologyNursing	総集編	163-167	2010
小川朝生	がんチーム医療におけるコミュニケーション・スキル	Oncology Nursing	1	22-25	2010
石橋照子, 岡村仁, 他	糖尿病を合併する統合失調症患者の治療の実態と血糖コントロール困難の要因.	島根県立大学短期大学部出雲キャンパス研究紀要	4	1-8	2010
井上 誠, 岡村仁, 他	介護老人保健施設入所者にみられる抑うつとその関連要因-抑うつ徴候の早期発見と効果的な介護介入-.	人間と科学	10	105-114	2010
繁本 梢, 岡村仁	リハビリテーション部門における遺族ケア.	臨床看護 臨時増刊号	36	567-572	2010
繁本 梢, 岡村仁	がんサバイバーシップのリハビリテーション.	腫瘍内科 5: 151-155	5	151-155	2010
小早川 誠, 岡村仁, 他	日本における緩和医療の現状と展望.	臨床精神薬理 13: 1279-1285	13	1279-1285	2010
岡村 仁	がん医療に携わる心のケア従事者への教育.	精神神経学雑誌 112: 1024-1027	112	1024-1027	2010
林 麗奈, 岡村仁, 他	統合失調症患者のセルフスティグマに関する研究-セルフエフィカシー, QOL, 差別体験との関連について-.	総合リハビリテーション			印刷中
花岡秀明, 岡村仁, 他	高齢者の回想に関連する要因の検討-回想の質と量に着目して-.	作業療法ジャーナル			印刷中

三木恵美, 岡村 仁, 他	末期がん患者に対する作業療法士 の関わり～作業療法士の語りの質 的内容分析～.	作業療法			印刷中
------------------	---	------	--	--	-----

